

お知らせ

2025年1月29日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所4号機の使用済燃料を3号機へ運搬しました

当社は、玄海原子力発電所の使用済燃料の貯蔵余裕を確保するため、3号機の使用済燃料プールの貯蔵能力変更（リラッキング）工事を実施し、4号機の使用済燃料も貯蔵できるよう共用化を進めてきましたが、計画通り全ての工事が完了し、2024年12月2日に運用を開始しています。

(2024年12月2日お知らせ済み)

今回、4号機の使用済燃料プールの貯蔵余裕を確保するため、4号機の使用済燃料56体を3号機へ運搬しましたのでお知らせします。

【運搬期間】

2025年1月11日～1月29日

【運搬後の使用済燃料プールの貯蔵状況】

	貯蔵容量	貯蔵量
3号機建屋	1,672体	1,034体
4号機建屋	1,504体	1,224体

当社は、使用済燃料の貯蔵管理に万全を期するとともに、積極的な情報公開と分かりやすい説明に努めてまいります。

以上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。